

●会計別予算の執行状況 (9月30日現在)

会計名		予算額	収入済み額 支出済み額	収入率 支出率
一般会計		372億7,102万円	169億8,691万円 146億2,125万円	45.6% 39.2%
特別会計	市営墓地事業	2億7,528万円	1,380万円 819万円	5.0% 3.0%
	特定地域戸別合併処理浄化槽整備事業	564万円	136万円 227万円	24.1% 40.2%
	財産区	2,313万円	1,960万円 1,053万円	84.7% 45.5%
	国民健康保険	72億3,379万円	30億9,147万円 26億6,926万円	42.7% 36.9%
計	介護保険	73億2,092万円	33億3,646万円 30億 512万円	45.6% 41.0%
	後期高齢者医療	9億2,164万円	2億7,155万円 2億5,984万円	29.5% 28.2%

※金額には、前年度からの繰り越しを含みます。

●会計別市債の状況 (9月30日現在)

会計名	金 額
一般会計	392億356万円
市営墓地事業	210万円
特定地域戸別合併処理浄化槽整備事業	348万円

●市税の収入状況 (9月30日現在)

市税	予算額	収入済み額	収入率
市民税	34億6,630万円	16億1,972万円	46.7%
固定資産税	44億4,770万円	31億3,586万円	70.5%
都市計画税・たばこ税など	14億5,010万円	9億 930万円	62.7%
合計	93億6,410万円	56億6,488万円	60.5%

●1人(1世帯)当たりの負担とサービス (9月30日現在)

区 分	市税の負担	市民サービス
1人当たり	77,564円	200,195円
1世帯当たり	184,752円	476,852円

※人口73,035人、世帯数30,662世帯(9月30日現在の住民基本台帳による)

12月10日から令和7年1月7日まで
年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動

運動のスローガン

今日もまた あなたの無事故 待つ家族

運動の重点

- ▶夕暮れ時や夜間の交通事故防止
- ▶飲酒運転の根絶
- ▶高齢運転者対策の推進
- ▶自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守
- ▶全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

PM4ライトオン運動

この時期は日没時間が早まるため、運転者は午後4時を目安にライトを点灯し、歩行者は明るい色の服や夜光反射材を身に着けるなど、交通事故の未然防止に努めましょう。

市民安全課☎(88)9128



令和6年度上半期の予算執行状況

適正な予算執行に努めています

9月30日現在の一般会計予算の執行状況は、前年度からの繰り越しを含め、予算額372億7102万円に対し、収入済み額が169億8691万円、収入率45・6%、支出済み額が146億2125万円、支出率39・2%となっています(会計別予算の執行状況は、左の表のとおり)。

本市の将来都市像である「共につくる住み続けたいまち」の達成に向け、財政課(88)9121

ちすかがわ」を目指して、これからも限りある財源を効果的・効率的に執行し、健全財政の堅持に努めていきます。

整備中の須賀川駅東西自由連絡通路



整備中の須賀川駅東西自由連絡通路

すかがわ 俳句シリーズ No.9

俳句に関する情報をシリーズでお知らせします。文化振興課☎(88)9172

市原多代女

安永5(1776)年に須賀川の造酒屋に生まれた市原多代女は、俳人・石井雨考に俳句の道を勧められ、晩学ながら、子育てと家業を両立し、江戸時代を代表する女流俳人となりました。

多代女は、90歳で亡くなるまでに4,000句以上の俳句や60句余りの連歌を残し、それらを収載した「浅香山集」は、代表作の一つです。

また、多代女は80歳のとき、市内にある十念寺の境内に尊敬する芭蕉の句碑を建立するなど、須賀川の俳句の発展に一生を捧げました。

十念寺にある芭蕉の句碑



「通いの場」を通した地域とのつながり

自分らしく、生き生きと地域で暮らしていくために

長寿福祉課☎(94)2162

本市の高齢化率は、令和6年9月末時点で30・52%と、約3人に1人が65歳以上の高齢者です。市では、住み慣れた地域で暮らし続けていくための「介護予防」として、住民主体の「通いの場」の活動を推進しています。今月号では「通いの場」の取り組みや、参加者の声を紹介します。

「通いの場」とは？

地域の皆さんが気軽に集まり、高齢者の介護予防やフレイル予防、生きがいづくり、仲間づくりといった様々な活



地域の皆さんと一緒に健康づくりしませんか

●各地域を担当する地域包括支援センター

居住地域	担当	電話番号
須賀川・浜田	須賀川中央地域包括支援センター	(88)8215
西袋・稲田・仁井田	須賀川西部地域包括支援センター	(75)3222
小塩江・大東	須賀川東部地域包括支援センター	(79)1551
長沼・岩瀬	須賀川長沼・岩瀬地域包括支援センター	(67)3113

動を行う場所や機会のことで

市内には、市独自の介護予防体操「ウルトラ長寿体操」を週に1回以上行う「ウルトラ週いっ会」をはじめ、体操や運動、趣味活動を行っている「通いの場」があります。また、定期的に皆さんで集まることで、地域での見守りにもつながっています。

「ウルトラ長寿体操」とは？

有酸素運動、筋力アップ体

操、認知症予防体操、口腔体操などで構成されている体操です。

DVDを見ながら楽しく取り組むことができ、各自の体力に合わせて無理なく行えます。



体操後のモルックは大盛り上がり！

活動を始めたときは？

3人以上で定期的に集まって「ウルトラ長寿体操」を行いたい場合には、DVDを貸し出しています。

また、介護予防に向けた「通いの場」を立ち上げたいときには、地域での周知や初期運営を支援します。各地域を担当する地域包括支援センターや長寿福祉課へお気軽にご相談ください。

参加者に聞きました！



小作田寿会 鈴木美恵子 さん(左)

実際に家が隣同士でも、顔を合わせて話す機会はとても少ないので、こういった場で近所の人たちの元気な笑顔を見られることは、とてもうれしいです。家ではなかなか「ウルトラ長寿体操」を行う機会はないけれど、通いの場でみんなと一緒にやると、楽しく体操ができるので、これからも続けていきたいです。

小作田寿会 永山京子 さん

令和5年3月に立ち上げてから、現在は20人以上の会員で活動しています。悪天候のときも、夏の暑い日も、多くの人が集まり、参加者同士の交流を楽しんでいます。体操の後にはモルックをして、体と頭の体操をしています。参加することがお互いの安否確認のようになっており、毎週顔を合わせることが楽しみです。